

第13回ITER理事会の結果について

平成10年2月24日

原子力局核融合開発室

1. 日 時 平成10年2月18、19日

2. 場 所 米国（サンディエゴ）

3. 出席者

(日本)	今村 努	科学技術庁長官官房審議官
	吉川 允二*	日本原子力研究所理事長
(米国)	デッカー	エネルギー省エネルギー開発局次長
	デービス	エネルギー省エネルギー開発局核融合部長
(EU)	ラオッティ	欧州委員会第12総局長
	メゾニエ	欧州委員会特別顧問
(ロシア)	ベリホフ**	科学アカデミー副総裁
	ソコロフ	原子力省原子力科学局長

(注) *：共同議長、**：議長

4. 概要

- (1) エマール共同中央チーム所長から最終設計報告書案が提出され、理事会はこれを受領、各様においてレビューを行うこととした。なお、各種のレビュー結果を次回理事会に報告することとなった。
- (2) 98年7月以降の工学設計活動の延長期間（3年間）においてサイト対応設計活動等を行うことについて合意に達し、理事会終了後、各種の代表者により延長のための関連文書に仮署名（イニシャル）が行われた。（我が国代表は今村官房審議官）
- (3) 特別作業グループ（SWG）を設置することが合意され、今後SWGにおいて、現行協定の計画目標の範囲内で詳細な技術目標の変更の可能性を探り、ITERのコスト低減を図るための検討等が行われることとなった。
- (4) 正式署名は、本年7月、オーストリア（ウィーン）にて開催される次回理事会にあわせて行われる予定。

以 上